

病虫害発生予察情報

7 月月報

平成 23 年 8 月 18 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2011 年 7 月	気 温 ()						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比 (%)	平年比 (%)		
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	33.1	5.0	24.0	3.8	27.9	4.2	4.5	8	53.2	141
中旬	33.5	3.9	24.1	2.5	28.3	3.2	42.0	91	88.7	222
下旬	28.5	-2.6	21.3	-1.4	24.4	-1.8	47.5	81	36.1	58
平均	31.6	2.0	23.1	1.6	26.8	1.8				
合計							94.0	58	178.0	125

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区大手町）

気 温：上旬はかなり高く、中旬は高く、下旬は低かった。

降 水 量：上旬はかなり少なく、中旬は少なく、下旬は平年並だった。

日照時間：上旬は多く、中旬はかなり多く、下旬は少なかった。

上旬：1 日から 8 日にかけては上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり一時的に雷雨となる日や、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。9 日以降は、太平洋高気圧に覆われて晴れた。なお、関東甲信地方は 7 月 9 日ごろに梅雨明けしたと見られる。

中旬：11 日から 17 日にかけては太平洋高気圧に覆われ晴れたが、18 日以降は南からの湿った気流や台風第 6 号の影響で曇りや雨となった。

下旬：期間の中頃は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、その他の日は台風第 6 号や上空の寒気および停滞前線の影響で曇りや雨となった。特に、28 日から 30 日にかけては大気の状態が不安定となったため雷雨となった。

2 作物生育概況

(1) イネ

生育はやや遅れ傾向にあった。

(2) 野菜類

果菜類：露地トマトの生育は概ね順調であったが、ウイルス病が多い傾向であった。抑制トマトは前半定植したものは高温・乾燥の影響で生育がやや不良であった。キュウリは枯れあがり例年より早い傾向にあった。ナスは前半の生育が遅れ傾向にあったが、後半は生育や果実の肥大等順調に経過した。スイートコーンは概ね順調であったが、エダマメは一部の地域で乾燥による影響がみられた。

葉根菜類：施設コマツナの生育は概ね順調であった。キャベツやブロッコリーの苗についても順調であった。ニンジンの上中旬播種に乾燥の影響で発芽が遅延したものがあつたが、下旬播種では降雨もあり順調に発芽した。

いも類：サトイモは一部の地域で乾燥の影響がみられた。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおり。

幸水：例年よりも 5 日程度肥大が遅れている。

(4) 茶樹

今年度は、2 番茶の収穫量は減少し、深刈りする生産者が多かった。

生育状況はほぼ順調であった。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病（平野部）	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病（山間部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
斑点米カメムシ類	< 多 >	発生は多かった。

(2) 果樹の病虫害

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< やや少 >	果樹園への飛来は少なかった。 フェロモントラップと予察灯の誘殺数はやや少なかった。
クサギカメムシ	< やや少 >	果樹園への飛来は少なかった。 予察灯の誘殺数はやや少なかった。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 一部多 >	一部地域でやや多かった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< やや多 >	発生は一部の圃場で多かった。
オオタバコガ	< やや多 >	発生はやや多かった。

キュウリ

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
斑点細菌病	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
半身萎凋病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

エダマメ

ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイズサヤタマバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ダイズサヤムシガ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
キスジノミハムシ	< やや多 >	発生は一部の圃場で多かった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ	< 少 >	発生は少なかった。
トチノキヒメヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
プラタナスグンバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

大 島：ネギで黒斑病、ブバルディアで立枯病の発生が多かった。その他、アシタバでウスカワマイマイ幼貝による被害、アジサイでバッタ類及びチャノキイロアザミウマの被害が目立った。

新 島：アシタバでハダニ類、バッタ類、アオバハゴロモ及びアブラムシ類、アブラナ科野菜でハスモンヨトウ、ヨトウガ、キスジノミハムシ及びアブラムシ類、レザーファンでアザミウマ類及びコガネムシ類、ルスカスでハダニ類及びカイガラムシ類の発生が多かった。

神津島：アシタバでバッタ類、アオバハゴロモ及びアブラムシ類、アブラナ科野菜でハスモンヨトウ、キスジノミハムシ及びアブラムシ類、レザーファンでチャノホコリダニ、アザミウマ類及びコガネムシ類の発生が多かった。

小笠原：シカクマメに白絹病（新病害、仮称）が発生し、現在調査中である。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月15日	8月17日	0	0
大田市場	7月15日	8月17日	0	0
板橋市場	7月15日	8月17日	0	0
淀橋市場	7月15日	8月17日	0	0
北足立青果市場	7月15日	8月17日	0	0
小平青果市場	7月7日	8月8日	0	0
八王子北野市場	7月7日	8月8日	0	0
昭島市場	7月7日	8月8日	0	0
国立市場	7月7日	8月8日	0	0
東久留米市場	7月7日	8月8日	0	0
備考：東久留米市場のウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップで、ミスジミバエ雄1頭が誘殺された。				

テレフォンサービス

0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。